

2022年11月28日

フードバンク活動を行う団体へ食品を寄贈しました

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）は、フードバンク活動を行う、セカンドハーベスト・ジャパン（認定 NPO 法人、所在地：東京都台東区、CEO：マクジルトン・チャールズ）と、最上広域市町村圏事務組合（所在地：山形県新庄市、理事長：山尾 順紀（新庄市長））を通して、やまがた福わたし（一般社団法人、所在地：山形県山形市、代表理事：伊藤 智英）に、当社商品を寄贈しました。

寄贈を通じて食の支援を必要とする方々へ食品を届けるとともに、輸入する際の検査抜き取り品や、輸送時に箱がつぶれてしまった商品など、まだ食べられるにもかかわらず販売できなくなった商品を有効活用することで、フードロスの削減につなげています。

●寄贈概要

寄贈日	寄贈先	寄贈品	数量
8/29、9/5 9/26、10/17	セカンドハーベスト・ ジャパン	冷凍食品「極旨！ももから揚げ」	9,568 袋
10/8	やまがた福わたし	缶詰「釧路のいわし水煮」 カップゼリー「フルティシエ贅沢果汁 北海道メロン」 カップゼリー「フルティシエ贅沢果汁 シャインマスカット ピューレー仕立て ナタデココ入り」	96 缶 30 個 96 個



寄贈品パッケージ写真

やまがた福わたしへの寄贈は、10月1日（土）、2日（日）に山形県新庄市で開催された「もがみエコフェスタ 2022」（主催：ゆめりあ魅力創造実行委員会、主管：最上広域市町村圏事務組合）で、フードバンクへの食品の提供を通じて実施されました。イベント当日は協力企業の展示ブースにて当社のフードロス削減の取り組みもご紹介いただきました。



フードロス削減について展示

マルハニチログループは 2022 年度より開始した、新中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」の中で、重要課題の一つに「循環型社会実現への貢献」を定め、「2030 年までにフードロス（製品廃棄）を 2020 年度比で 50%削減する（国内グループ）」という目標を掲げています。循環型社会の実現に向け、フードバンク活動を行う団体などへ食の支援活動を推進してまいります。

【本件に関する問い合わせ先】

マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ
kankyou@maruha-nichiro.co.jp